

授業概要

社会心理学は、社会学と心理学の双方から発展してきた学問である。本授業では、後者の立場（心理学的社会心理学）を中心に講義する。講義内容は、集団過程、集合過程などが中心となる。つまり、複数の人間によって形成されている社会の中で、個々の人間がどのように影響を受け、または影響を与えているのかという現象と、その現象に関する理解の説明が中心となる。なお、社会心理学のその他の領域（社会的認知、対人関係など）は春期開講の「社会心理学Ⅰ」で扱う。

本授業の後半では、社会心理学のさまざまな研究の紹介を通して、社会心理学の発展可能性についても若干の講義を行う予定である。

授業計画

第 1 回	ガイダンス（授業の進め方・成績評価、など）
第 2 回	社会心理学の概要（社会心理学Ⅰでの講義内容の概説を含む）
第 3 回	個人・集団・文化(1) 集団とは
第 4 回	個人・集団・文化(2) 文化とは
第 5 回	個人・集団・文化(3) 内集団・外集団
第 6 回	個人・集団・文化(4) 文化的自己観・社会的アイデンティティ
第 7 回	個人と社会的集団(1) 同調と逸脱
第 8 回	個人と社会的集団(2) 協同と競争
第 9 回	中間まとめ（個人と社会的集団の関係）
第10回	集合過程(1) 流言
第11回	集合過程(2) 群集の力
第12回	社会的リアリティの形成(1) マス・コミュニケーションの影響
第13回	社会的リアリティの形成(2) コミュニケーション・ネットワーク
第14回	社会的リアリティの形成(3) 社会変動のとりえ方
第15回	全体のまとめ
第16回	定期試験

到達目標

自らの日常生活でこれまで理解し難かった集団や社会での出来事について、講義内容をふまえて考えることができるようになる。

履修上の注意

社会心理学Ⅰと、講義内容の連続性はあるが、この授業のみを単独で履修しても困らないように授業構成を配慮する予定である。

基本的な注意は、社会心理学Ⅰと同様のため、社会心理学Ⅰのシラバスを参照すること。

授業中に担当教員自身の研究あるいは担当教員のゼミに所属する3,4年生の研究に対する参加協力を求める場合がある。研究への参加協力に対する意見・感想用紙の提出を評価の一部に加点する対応をとる予定である。研究への参加協力と評価への一部加点に関する詳細は、第1回の授業において説明する。

予習・復習

特に予習は必要ないが、なるべく事前に授業プリントを配布するので、目通ししておくといよい。

リアクションペーパーに書かれた疑問や質問に対して担当教員が加える説明も含めた講義内容を基に、考えを深める姿勢が復習の一形態だと考える。

評価方法

平常点（授業への参加態度、リアクションペーパーへの記述内容）が3割、定期試験が7割である。第1回の講義で評価方法の詳細を説明する。

テキスト

特に指定しない。授業中に配布するプリントに沿って授業を進める。参考書は授業中に紹介する。

参考書例）「セクション社会心理学」シリーズ（サイエンス社）